

令和2年産水稻の作付面積及び予想収穫量 (10月15日現在 愛媛県)

【調査結果の概要】

1 作付面積

令和2年産水稻の作付面積（子実用）は1万3,400haで、前年産に比べ200ha（1%）減少しました。

また、水稻の作付面積（青刈り面積を含む。）から、備蓄米、加工用米、新規需要米等の作付面積を除いた主食用作付面積は1万3,300haで、前年産に比べ200ha（1%）減少しました。

2 作柄概況

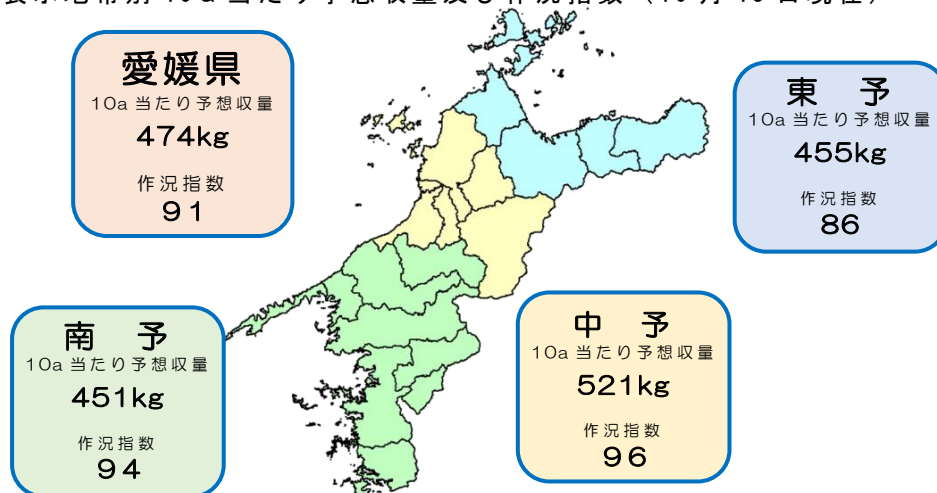
穂数は、田植期から6月下旬が高温で経過したこと、分げつが良好となり「平年並み」となりました。また、1穂当たりもみ数は、幼穂形成期にあたる7月下旬から9月上旬にかけて天候に恵まれたことから「やや多い」となりました。この結果、全もみ数（穂数×1穂当たりもみ数）は「やや多い」となりました。

登熟は、全もみ数がやや多いことによる相反作用に加え、トビイロウンカによる被害の発生が県下全域で見られ、また、これに伴う早刈りにより未熟粒等が発生していることから「不良」と見込まれます。

以上のことから、愛媛県の10a当たり予想収量は474kgとなり、前年産に比べ4kgの増加が見込まれます。作柄表示地帯別では、東予が455kg（前年産に比べ13kg減少）、中予が521kg（同14kg増加）、南予が451kg（同17kg増加）と見込まれます。

また、農家等が使用しているふるい目幅ベース（愛媛県1.85mm）の作況指数は91（不良）と見込まれます。作柄表示地帯別では、東予が86（不良）、中予が96（やや不良）、南予が94（不良）と見込まれます。

図1 作柄表示地帯別10a当たり予想収量及び作況指数（10月15日現在）



3 予想収穫量

以上の結果、予想収穫量（子実用）は6万3,500tとなり、前年産に比べ400t（1%）の減少が見込まれます。

また、主食用作付面積に10a当たり予想収量を乗じた主食用の予想収穫量は6万3,000tとなり、前年産に比べ500t（1%）の減少が見込まれます。

表1 令和2年産水稻玄米のふるい目幅別重量分布状況（10月15日現在）

単位：%

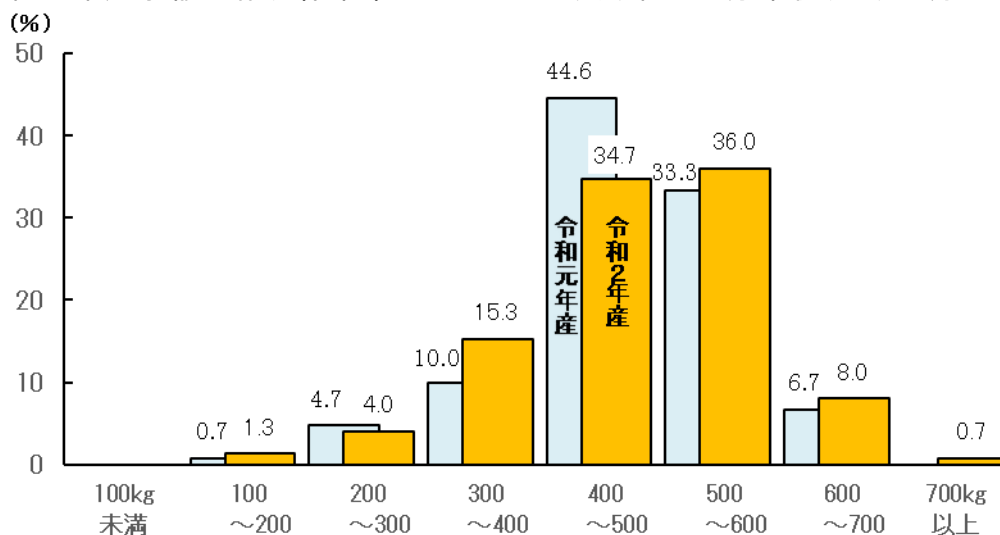
県・作柄 表示地帯	区分	計	ふるい目幅別重量分布状況					
			1.70mm以上 1.75mm未満	1.75 ～1.80	1.80 ～1.85	1.85 ～1.90	1.90 ～2.00	2.00mm 以上
愛 媛	重量割合	100.0	1.9	3.5	4.0	5.8	22.3	62.5
	平均値	100.0	1.2	2.0	2.8	4.1	19.0	70.9
	対平均差(ポイント)	0.0	0.7	1.5	1.2	1.7	3.3	△ 8.4
東 予	重量割合	100.0	2.7	5.2	5.4	7.8	25.9	53.0
	平均値	100.0	1.5	2.6	3.5	5.2	22.4	64.8
	対平均差(ポイント)	0.0	1.2	2.6	1.9	2.6	3.5	△ 11.8
中 予	重量割合	100.0	1.5	3.0	3.6	5.5	22.7	63.7
	平均値	100.0	1.2	1.9	2.8	4.1	20.5	69.5
	対平均差(ポイント)	0.0	0.3	1.1	0.8	1.4	2.2	△ 5.8
南 予	重量割合	100.0	1.2	2.0	2.5	3.6	17.1	73.6
	平均値	100.0	0.9	1.3	1.8	2.5	12.4	81.1
	対平均差(ポイント)	0.0	0.3	0.7	0.7	1.1	4.7	△ 7.5

表2 令和2年産水稻の作況標本筆の10a当たり玄米重の分布状況（10月15日現在）

単位：%

区分	計	100kg 未満	100 ～200	200 ～300	300 ～400	400 ～500	500 ～600	600 ～700	700kg 以上
筆数割合	100.0	—	1.3	4.0	15.3	34.7	36.0	8.0	0.7
前年値	100.0	—	0.7	4.7	10.0	44.6	33.3	6.7	—
対前年差(ポイント)	0.0	—	0.6	△ 0.7	5.3	△ 9.9	2.7	1.3	0.7

図2 令和2年産水稻の作況標本筆の10a当たり玄米重の分布状況（10月15日現在）

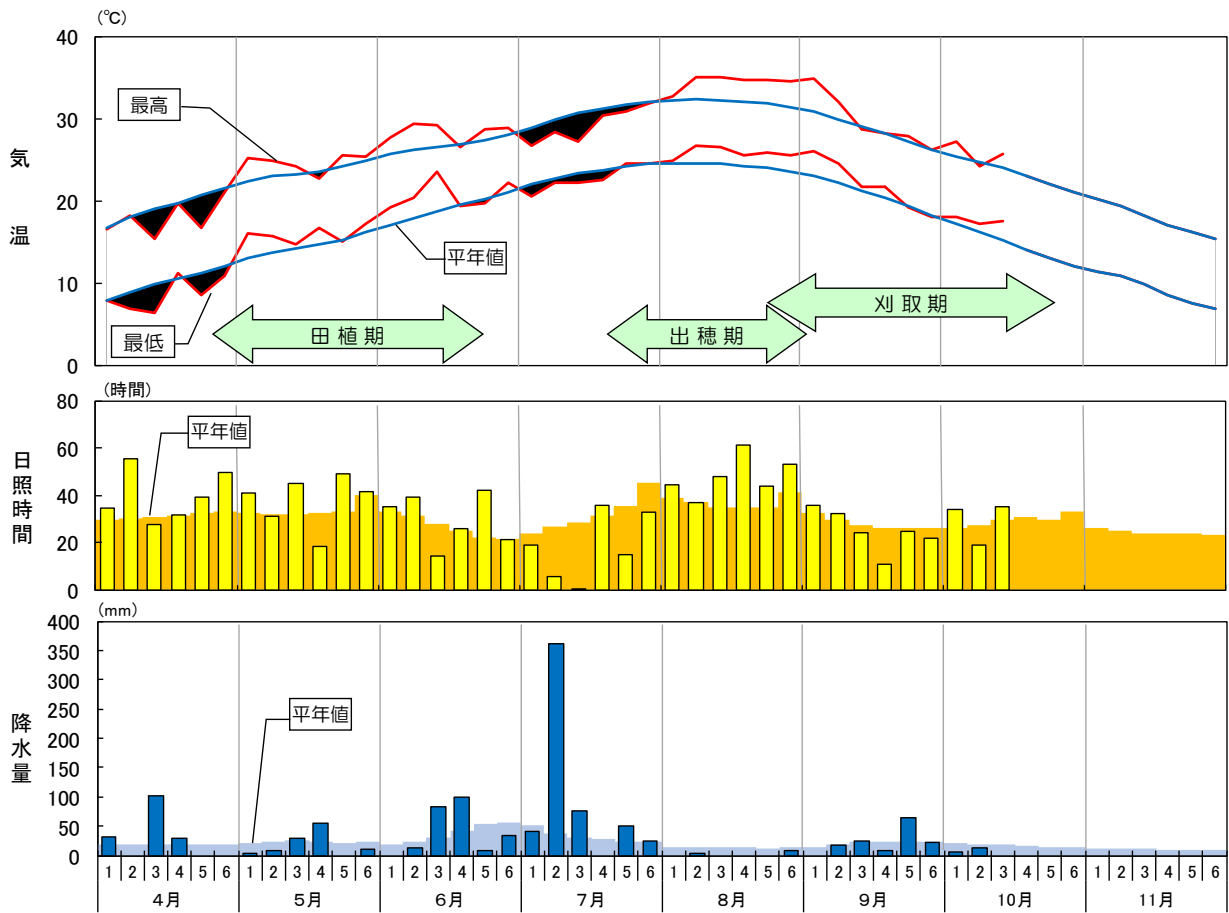


◎ 累年統計表

区分	作付面積 (子実用)	10a当たり 収 量	収穫量 (子実用)	作況指数	参考	
					主 食 用 作付面積	収穫量 (主食用)
	ha	kg	t		ha	t
愛媛県 平成24年産	15,300	490	75,000	98	15,200	74,500
25	15,300	493	75,400	99	15,200	74,900
26	15,000	490	73,500	98	14,900	73,000
27	14,600	488	71,200	98	14,600	71,200
28	14,200	508	72,100	102	14,200	72,100
29	13,900	508	70,600	102	13,900	70,600
30	13,900	498	69,200	100	13,900	69,200
令和元年産	13,600	470	63,900	94	13,500	63,500
2(見込み)	13,400	474	63,500	91	13,300	63,000
東予 平成24年産	6,170	493	30,400	100	…	…
25	6,150	495	30,400	101	…	…
26	6,060	492	29,800	100	…	…
27	5,900	481	28,400	98	…	…
28	5,750	497	28,600	101	…	…
29	5,570	504	28,100	103	…	…
30	5,600	493	27,600	100	…	…
令和元年産	5,380	468	25,200	95	…	…
2(見込み)	5,260	455	23,900	86	…	…
中予 平成24年産	4,380	525	23,000	98	…	…
25	4,410	517	22,800	97	…	…
26	4,350	517	22,500	97	…	…
27	4,240	528	22,400	99	…	…
28	4,200	545	22,900	102	…	…
29	4,160	538	22,400	101	…	…
30	4,160	537	22,300	101	…	…
令和元年産	4,130	507	20,900	95	…	…
2(見込み)	4,130	521	21,500	96	…	…
南予 平成24年産	4,740	455	21,600	96	…	…
25	4,740	469	22,200	99	…	…
26	4,620	461	21,300	97	…	…
27	4,480	461	20,700	97	…	…
28	4,300	488	21,000	103	…	…
29	4,220	484	20,400	102	…	…
30	4,150	465	19,300	98	…	…
令和元年産	4,070	434	17,700	91	…	…
2(見込み)	4,030	451	18,200	94	…	…

◎ 半旬別気象図

松山市の気象図



気象庁「アメダス」を基に作成

本資料は、「令和2年産水稲の作付面積及び予想収穫量（10月15日現在 中国地域・四国地域）」の補足資料です。統計表や調査の概要等は、同資料をご覧ください。

お問合せ先

中国四国農政局 愛媛県拠点 統計チーム 担当：大藏、大政
 電話：089-932-1178 FAX：089-946-2991